

# 横浜市立北山田小学校 校歌

—光と風に包まれて—

藤井 宮子 作詞  
織田 哲郎 作曲

一 太陽の光 風の文 あや 体中に浴びてとびきりの笑顔

友だちとつないだ手のぬくもり ひとつ残らず大切な宝  
生まれたての風に包まれて 心から優しさあふれてくるよ

二 温かな土を手にとつて 緑の香りに大地を感じる

里の生きものたちその息づかい 耳を澄ませば聞こえてくるよ  
命運ぶ風に包まれて 思いやる心を誇りにしよう

三 みんなで夢見る幸福とみんなが未来へ向かえる幸福 しあわせ

変わらず守ること変えていくこと 瞳そらさず考え祈る  
この豊かな風に包まれて 心の気高さを忘れないで

北山田小学校

## 校章について

《意図と願い》

児童、保護者、職員、地域の皆さまから広く図案を募集し、委員会でいくつかの図案を選び出し、全校児童のアンケート投票の結果や北山田小らしさ出せることを考慮してデザイン化しました。

この校章は募集した図案のほとんどに使用されていた「北山田小」という文字をモチーフとしています。「山」の字をかたどる富士は、この地域で親しまれている山田富士を表しています。高くそびえ立っている山田富士のように、高い理想に向かって大きく成長していこうとする子どもたちの熱い気持ちを表しています。

使用している色にもそれぞれの意味があります。「北」と「田」の緑色には、緑の大地にしっかりと根ざし、たくましく生きていくってほしい、「山」の黄色には、心豊かに明るく育ってほしい、さらに外側の円の青色には、学校・家庭・地域がひとつの輪になつて子どもたちのために力を合わせていこうという願いが込められています。

(校章制定委員会)

## 校歌について

《意図と願い》

「私たちの校歌をはやく歌いたい」という願いから、北山田小学校のイメージや夢を表したことばや詩が、児童、保護者、職員から校歌制定委員会へたくさん寄せられました。それらをもとに、委員会で推薦された藤井宮子様に作詞を、織田哲郎様に作曲を分担してもらい、二十一世紀にふさわしい新しい感覚の校歌の作成をお願いしました。

さわやかな旋律の中に二十一世紀を担う子どもたちが、自然や地域に見守られながら優しい心、思いやりの心、気高い心をもった人間に育ってほしいという願いが、「光と風」というテーマの中で生き生きと表現されています。

心に響く歌として、いつまでも、いつまでも口ずさんでほしいと願っています。

(校歌制定委員会)



20th Anniversary since 1996

